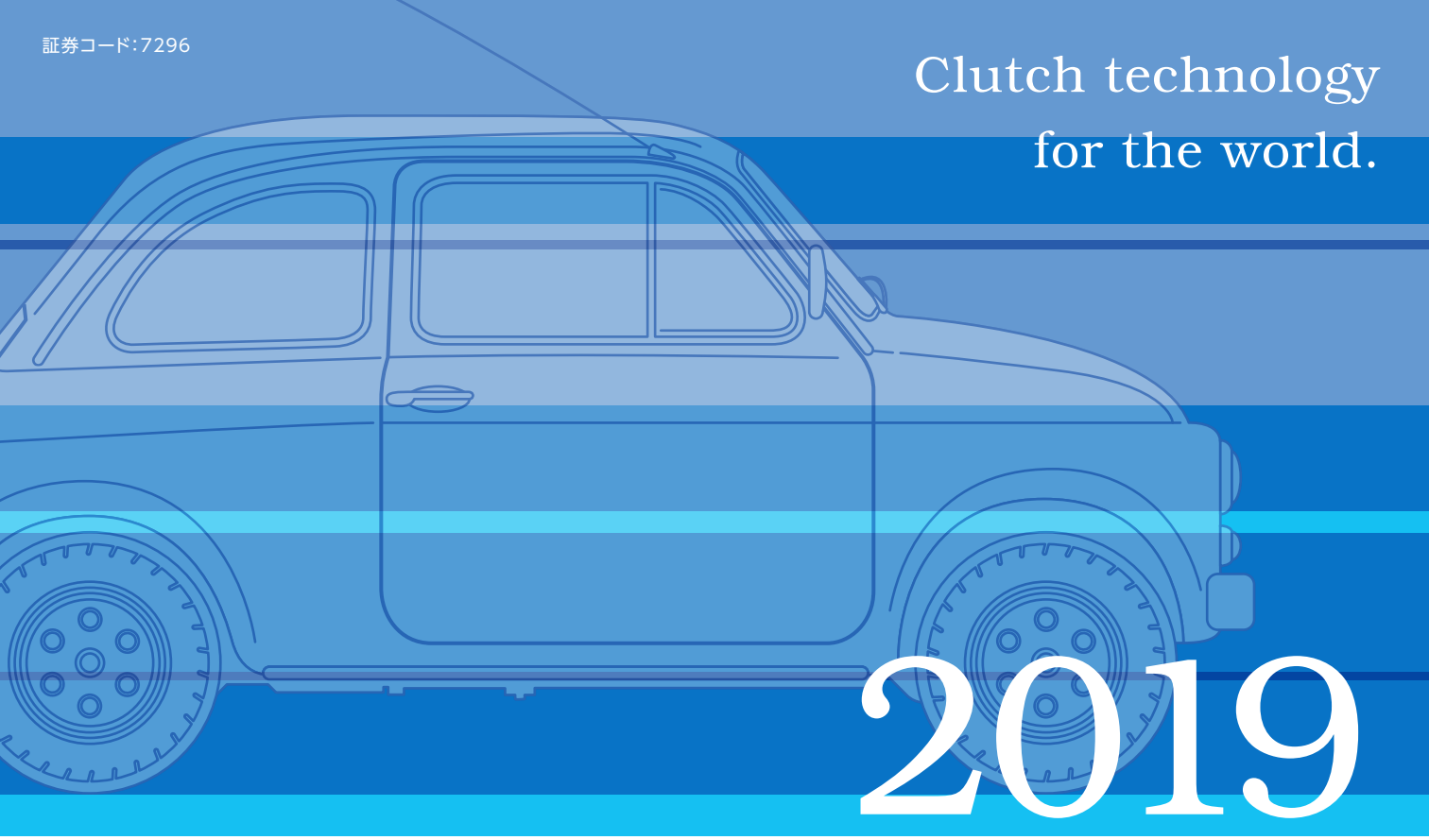
証券コード:7296

Clutch technology
for the world.



2019

年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

CLUTCH (F.C.C.) TECHNOLOGY

クラッチ市場で明日へつなぐ、世界のリーディングカンパニー

二輪車用クラッチ
世界シェア
No.1

海外売上収益比率
90.3%

グローバルネットワーク
22 生産拠点
海外 10ヶ国 14社

世界基準の品質管理・環境対策
独自の品質管理体制を実現、グローバル展開することで、世界トップレベルのクオリティーと環境対策を実行

独自の生産技術「セグメント方式」
クラッチ生産の効率化と品質の向上に飛躍的な進化をもたらした生産システム

摩擦材開発からの「一貫生産体制」
摩擦材の開発から組み立てまで、一貫工程。品質・コストに対する顧客の要求を満たす、提案力の源

グローバルな生産体制 世界規模の提案力
海外10ヶ国の生産拠点ネットワークで、各地の需要にすみやかに対応、それぞれの市場・需要にあわせた製品を提案

ごあいさつ
To Our Shareholders

代表取締役社長
斎藤善敬

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。2019年度の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

当連結会計年度の業績は、米国の四輪車用クラッチの販売が増加したものの、中国の四輪車用クラッチの販売が減少したことに加え、インドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は1,710億60百万円（前期比3.7％減）となりました。営業利益は、リコールに伴う補償費用や減損損失等の計上もあり78億96百万円（前期比50.2％減）となりました。税引前当期利益は66億53百万円（前期比59.7％減）、親会社の所有者に帰属する当期利益は39億21百万円（前期比66.7％減）となりました。

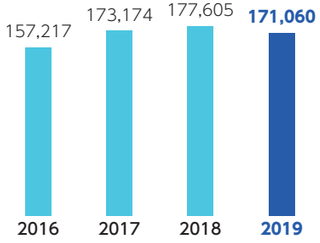
期末配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し、1株当たり29円とさせていただきました。これにより、1株当たりの年間配当金は中間配当金とあわせて58円となり、前期に比べ6円の増配となります。

さて、当社ではこのたび代表取締役の異動を実施し、新体制のスタートを切りました。今後の経営環境は、燃費規制への対応、電動化や自動運転技術の進展、シェアリングの普及など、自動車業界のみならず、他業界を含めた大きな構造変化の時代を迎えておりますが、2020年度を初年度とする第11次中期経営計画を確実に実行し、既存事業の更なる拡大と新事業の創出に努めてまいります。

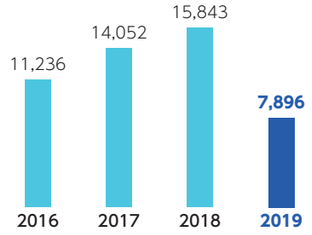
株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2020年6月

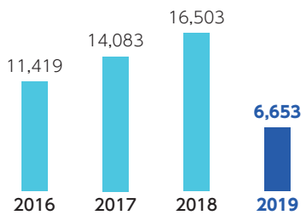
売上収益 (百万円)



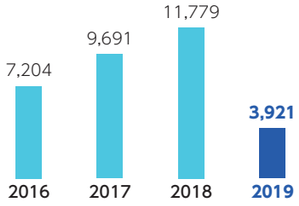
営業利益 (百万円)



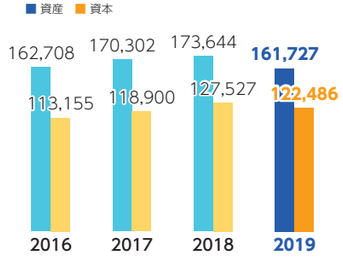
税引前利益 (百万円)



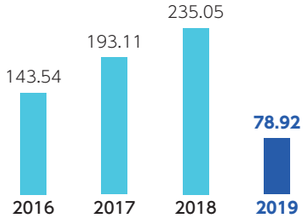
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)



資産/資本 (百万円)



基本的1株当たり当期利益 (円)



さらなる企業価値の向上へ

この度、代表取締役社長に斎藤善敬が就任しました。
新体制スタートにあたり、新社長としての思いを語ります。

Profile

氏名：斎藤 善敬（さいとう よしたか）
生年月日：1973年11月29日
略歴：2009年当社入社。2011年当社取締役に就任。
常務取締役、専務取締役、代表取締役副社長を経て、
2020年6月当社代表取締役社長に就任。

新中期経営計画骨子

Q 社長就任の抱負をお聞かせください。

当社は昨年創業80年を迎えました。長い歴史においては様々な困難に直面することもありましたが、顧客をはじめとするステークホルダーとの強固な信頼関係を築くとともに、経営課題に真摯に向き合い、時代の変化を見据えた英断がこれまでの成長につながっています。こうした歴史の中で育まれ、磨かれてきた「独創的なアイデアと技術」、それを生み出す従業員の力や組織力。私の責務は、それらを引き継ぎ、一層の発展に努めていくことであると認識しています。

一方で、自動車業界は100年に1度の変革期と言われているとおり、今まで以上に目まぐるしく経営環境が変わっていくことでしょう。そこでは、従来の社内のルールや考え方に捉われたやり方では通用しません。多様な観点から是々非々で議論しながら進めていきたいと考えています。

Q 新中期経営計画、重点施策について教えてください。

当社を取り巻く経営環境としましては、燃費規制への対応、電動化や自動運転技術の進展、シェアリングの普及など、自動車業界のみならず、他業界を含めた大きな構造変化の時代を迎えております。

このような中で、2020年度からスタートした第11次中期経営計画では、第10次中計で築きあげた「中身の進化」を更に高い次元での企業体質の強化につなげていくとともに、新事業開発やAIなどを活用したデジタル進化にも積極的に取り組んでいきます。開発力、現場力の強化によりクラッチ事業の競争力を一層強化することで稼ぐ力を向上させ、それをもとに新事業への成長投資を加速する。これにより大変革の時代においても持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

Q 新型コロナウイルスの影響について教えてください。

新型コロナウイルス対応として、対策本部を1月下旬に立上げ、従業員およびその家族、関係者の安全確保を最優先に感染症の拡大防止に取り組むとともに、各国政府や地方自治体の要請等を踏まえ、事業への影響を最小限に抑えるべく対応を行ってまいりました。中国の生産拠点では2月から稼働を停止し、続いて米国やインド等の他地域の拠点でも同様の状況となりました。

今後、国内外の景気が更に下振れするリスクに留意する必要があり、先行きは極めて不透明な状況です。喫緊の課題としましては、引き続き安全確保を最優先に事業継続に向けた取り組みを推進してまいります。なお、2021年3月期の見通しは、現時点において合理的に算定することが困難であることから未定としておりますが、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

自動車業界を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、グループの総力を結集して新たな成長ステージでの飛躍を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

二輪車用クラッチ

インドや日本において販売が減少

売上収益(百万円)

80,090 百万円

5.0% DOWN

営業利益 (百万円)

9,963 百万円

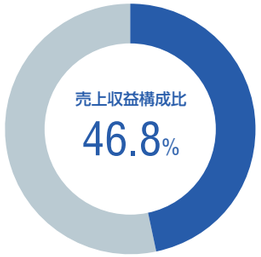
15.0% DOWN

インドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したものの、インドや日本の販売が減少したこともあり、売上収益は80,090百万円(前期比5.0%減)、営業利益は9,963百万円(前期比15.0%減)となりました。

製品情報

オートバイに使用される多板クラッチとスクーターに使用される遠心クラッチ等があります。ビジネス・レジャー・スポーツ・レース等の使用目的にあわせ、50ccから2000ccを超える排気量に対応する豊富な種類をご用意しています。その他に、ATV用クラッチや汎用機用クラッチ等があります。

※ATV:All Terrain Vehicle(バギー)



主要顧客別売上収益構成比

ホンダグループ	48.9%
ヤマハグループ	16.1%
スズキグループ	4.4%
カワサキグループ	2.6%
兼松(ハーレー他)	6.3%
その他	21.7%

四輪車用クラッチ

中国において販売が減少

リコールに伴う補償費用や減損損失の計上

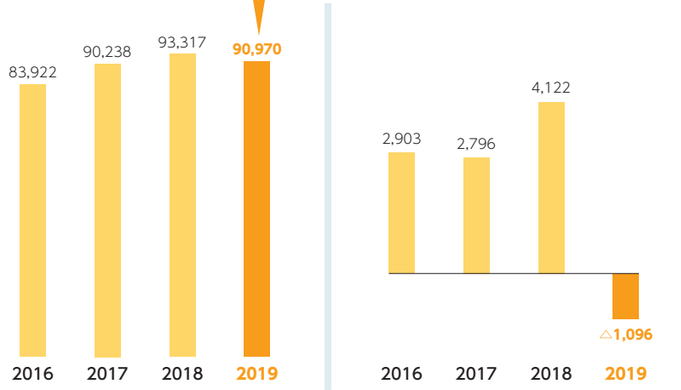
売上収益(百万円)

90,970 百万円

2.5% DOWN

営業利益 (百万円)

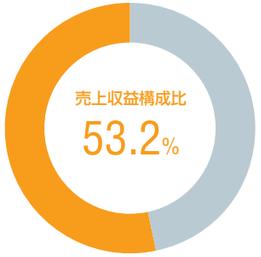
△1,096 百万円



米国の四輪車用クラッチの販売が増加したものの、中国の販売が減少したこともあり、売上収益は90,970百万円(前期比2.5%減)となりました。営業損益は、リコールに伴う補償費用や減損損失の計上等もあり1,096百万円の営業損失(前期は4,122百万円の営業利益)となりました。

製品情報

オートマチックトランスミッション(AT)用クラッチ、マニュアルトランスミッション(MT)用クラッチ、トルクコンバーター用ロックアップクラッチ、CVT用クラッチ、4WD用デフクラッチ等があります。



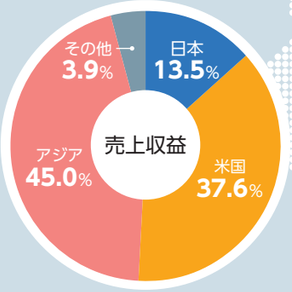
主要顧客別売上収益構成比

ホンダグループ	40.2%
フォード	33.7%
FCA	6.9%
ZF	5.2%
GM	6.6%
その他	7.4%

世界に羽ばたく F.C.C.のネットワーク

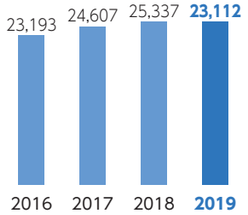
1988年、ジェイテックインコーポレイテッド※(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14社、22生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティー、ローコストな製品づくりを目指しています。
これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術を高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

※ 現 FCC(INDIANA), LLC

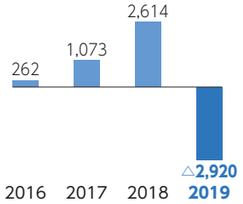


日 本 Japan

売上収益 (百万円)



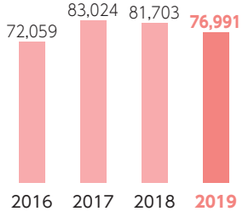
営業利益 (百万円)



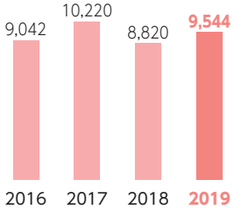
二輪車用クラッチの販売が減少したことや前期における国内子会社の連結除外の影響等もあり、売上収益は23,112百万円(前期比8.8%減)となりました。営業損益は、リコールに伴う補償費用の計上等もあり2,920百万円の営業損失(前期は2,614百万円の営業利益)となりました。

アジア Asia

売上収益 (百万円)



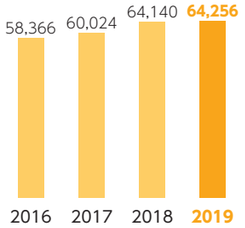
営業利益 (百万円)



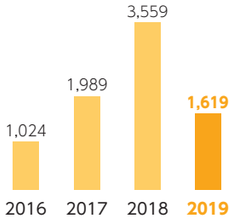
インドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したものの、インドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は76,991百万円(前期比5.8%減)となりました。営業利益は、前期に計上した中国における減損損失の影響が無くなったこともあり9,544百万円(前期比8.2%増)となりました。

米 国 America

売上収益 (百万円)



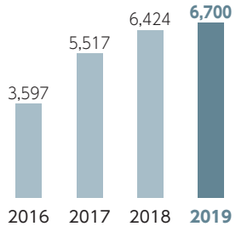
営業利益 (百万円)



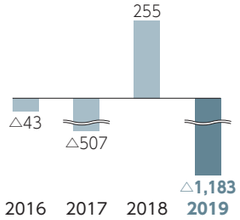
ZF向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、GM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は64,256百万円(前期比0.2%増)となりました。営業利益は、償却負担の増加等もあり1,619百万円(前期比54.5%減)となりました。

その他 Others

売上収益 (百万円)



営業利益 (百万円)



メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は6,700百万円(前期比4.3%増)となりました。営業損益は、メキシコにおける減損損失の計上等もあり1,183百万円の営業損失(前期は255百万円の営業利益)となりました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,444	35,350
営業債権及びその他の債権	28,080	24,229
その他の金融資産	1,625	2,114
棚卸資産	20,503	19,366
その他の流動資産	2,366	1,697
流動資産合計	85,020	82,759
非流動資産		
有形固定資産	69,786	61,491
のれん及び無形資産	4,201	4,520
持分法で会計処理されている投資	89	63
その他の金融資産	11,238	10,374
繰延税金資産	2,775	2,388
その他の非流動資産	532	129
非流動資産合計	88,624	78,968
資産合計	**173,644**	**161,727**

科　目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	12,794	11,199
借入金	12,791	7,206
その他の金融負債	152	345
未払法人所得税	2,704	2,133
引当金	–	2,880
その他の流動負債	6,604	5,881
流動負債合計	35,046	29,645
非流動負債		
借入金	19	1
その他の金融負債	488	1,189
退職給付に係る負債	2,144	1,470
引当金	29	29
繰延税金負債	8,129	6,625
その他の非流動負債	258	280
非流動負債合計	11,069	9,596
負債合計	**46,116**	**39,241**
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	122,365	123,579
自己株式	△4,787	△4,787
その他の資本の構成要素	4,122	△2,098
親会社の所有者に帰属する持分合計	125,875	120,869
非支配持分	1,652	1,617
資本合計	**127,527**	**122,486**
負債及び資本合計	**173,644**	**161,727**

連結損益計算書

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	当連結会計年度 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
売上収益	177,605	171,060
売上原価	△145,564	△142,919
売上総利益	32,041	28,141
販売費及び一般管理費	△15,496	△15,813
その他の収益	1,070	950
その他の費用	△1,770	△5,381
営業利益	15,843	7,896
金融収益	992	1,025
金融費用	△299	△2,253
持分法による投資損益	△32	△15
税引前当期利益	16,503	6,653
法人所得税費用	△4,537	△2,624
当期利益	11,965	4,028
当期利益の帰属		
親会社の所有者	11,779	3,921
非支配持分	186	106
当期利益	11,965	4,028
1株当たり当期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	235.05	78.92
希薄化後1株当たり当期利益(円)	–	–

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	当連結会計年度 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,622	25,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,695	△10,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,981	△8,990
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,945	5,491
現金及び現金同等物の期首残高	25,230	32,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	268	△2,585
現金及び現金同等物の期末残高	32,444	35,350

2020年度(2021年3月期)の連結業績予想

売上収益	2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としております。 今後、連結業績予想の算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。
営業利益	
税引前利益	
親会社の所有者に帰属する当期利益	
基本的1株当たり当期利益	

ホームページをリニューアルしました！

https://www.fcc-net.co.jp/ FCC 検索

TOPページ

IR情報

スマートフォンにも対応

連結財務諸表
Consolidated Financial Statements

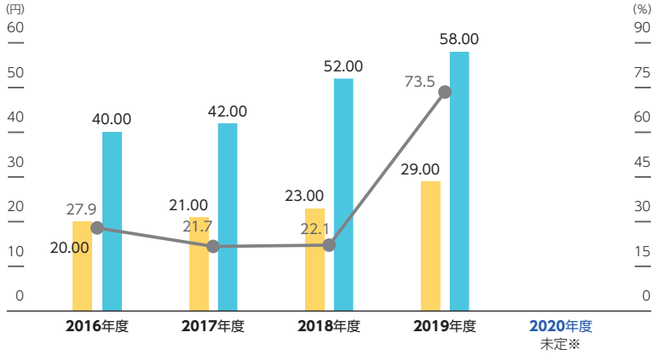
連結持分変動計算書
当連結会計年度(自 2019年4月1日　至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

科　目	親会社の所有者に帰属する持分								非支配持分	資本合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動	確定給付制度の再測定	合計			
2019年4月1日時点の残高	4,175	122,365	△4,787	187	3,934	–	4,122	125,875	1,652	127,527
当期利益	–	3,921	–	–	–	–	–	3,921	106	4,028
その他の包括利益	–	–	–	△5,310	△901	166	△6,045	△6,045	△51	△6,097
当期包括利益合計	–	3,921	–	△5,310	△901	166	△6,045	△2,124	55	△2,068
自己株式の取得	–	–	△0	–	–	–	–	△0	–	△0
配当金	–	△2,881	–	–	–	–	–	△2,881	△90	△2,972
持分変動に伴う増減額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
その他の資本の構成要素からの振替	–	175	–	–	△8	△166	△175	–	–	–
所有者との取引額合計	–	△2,706	△0	–	△8	△166	△175	△2,882	△90	△2,972
2020年3月31日時点の残高	4,175	123,579	△4,787	△5,122	3,024	–	△2,098	120,869	1,617	122,486

配当政策および配当金

配当金および配当性向の推移と見通し



※2021年3月期の配当金につきましては、現時点において連結業績予想を合理的に反映することが困難であることから未定とさせていただきます。

配当政策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

配当金

第90回定時株主総会の決議により、当期の期末配当金を1株当たり29円とさせていただくことになりました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金29円とあわせて58円となります。

個別財務諸表
Non-consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位:百万円)

科　目	当事業年度(2020年3月31日)
資産の部	
流動資産	29,176
現金及び預金	4,969
売掛金	8,420
たな卸資産	3,933
関係会社短期貸付金	9,123
その他	2,728
固定資産	53,591
有形固定資産	14,670
無形固定資産	174
投資その他の資産	38,747
資産合計	82,768

科　目	当事業年度(2020年3月31日)
負債の部	
流動負債	16,382
買掛金	2,634
短期借入金	7,188
その他	6,559
固定負債	432
負債合計	16,814
純資産の部	
株主資本	63,783
資本金	4,175
資本剰余金	4,566
利益剰余金	59,829
自己株式	△4,787
評価・換算差額等	2,170
その他有価証券評価差額金	2,170
純資産合計	65,953
負債純資産合計	82,768

損益計算書

(単位:百万円)

科　目	当事業年度 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
売上高	38,337
売上原価	28,689
売上総利益	9,647
販売費及び一般管理費	9,781
営業損失(△)	△134
営業外収益	4,395
営業外費用	1,757
経常利益	2,503
特別利益	238
特別損失	3,002
税引前当期純損失(△)	△260
法人税等	△81
当期純損失(△)	△179

株主資本等変動計算書
当事業年度(自 2019年4月1日　至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

科　目	株主資本												評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金						自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計					
						配当準備積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	4,175	4,555	10	4,566	1,043	1,600	969	52,500	6,776	62,890	△4,787	66,845	3,196	3,196	70,041
当期変動額															
固定資産圧縮積立金の取崩							△485		485	–		–			–
固定資産圧縮積立金の積立															
別途積立金の積立								2,000	△2,000	–		–			–
剰余金の配当									△2,881	△2,881		△2,881			△2,881
当期純損失(△)									△179	△179		△179			△179
自己株式の取得											△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)													△1,026	△1,026	△1,026
当期変動額合計	–	–	–	–	–	–	△485	2,000	△4,575	△3,061	△0	△3,061	△1,026	△1,026	△4,088
当期末残高	4,175	4,555	10	4,566	1,043	1,600	484	54,500	2,200	59,829	△4,787	63,783	2,170	2,170	65,953

株式の状況
Stock Information

株式の状況

2020年3月31日現在

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	14,937名
単元株式数	100株
証券コード	7296

所有者別状況

	持株数(千株)	持株比率(%)
個人・その他	9,080	17.2
金融機関	13,857	26.3
その他国内法人	14,300	27.2
外国法人等	11,957	22.7
証券会社	491	0.9
自己名義株式	2,956	5.6

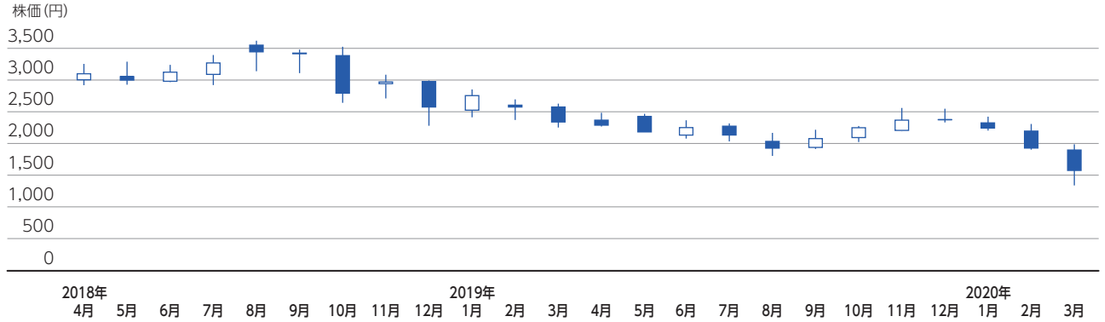
大株主(上位10名)

2020年3月31日現在

		持株数(千株)	持株比率(%)
1	本田技研工業株式会社	10,881	21.9
2	株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,483	5.0
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,379	4.8
4	株式会社ワイ・エー	2,019	4.1
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,867	3.8
6	全国共済農業協同組合連合会	1,539	3.1
7	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託　みずほ銀行口 再信託受託者　資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6
8	山本惠以	1,300	2.6
9	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	885	1.8
10	エフ・シー・シー取引先持株会	807	1.6

(注) 1. 当社は自己株式を2,956,099株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



会社概要
Corporate Data

会社概要

商号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL:053-523-2400㈹
資本金	41億75百万円
代表者	代表取締役会長　松田年真 代表取締役社長　斎藤善敬
設立	1939年(昭和14年)6月
従業員数	8,718名(連結)　2020年3月31日現在
事業内容	二輪車および四輪車のクラッチならびに その他の部品の製造販売

役員

2020年6月23日現在

代表取締役会長	松田年真
代表取締役社長	斎藤善敬
常務取締役	糸永和広
常務取締役	鈴木一人
取締役	西村輝文
取締役	向山敦浩
取締役	中谷賢史
取締役	茂原敏成
取締役	後藤智行
取締役 常勤監査等委員	松本隆次郎
取締役 監査等委員	辻慶典
取締役 監査等委員	佐藤雅秀
取締役 監査等委員	杉山一統

辻 慶典、佐藤雅秀および杉山一統の各氏は、社外取締役であります。

主な子会社

〔国内生産会社〕

㈱九州エフ・シー・シー　天龍産業㈱
㈱フリント

〔海外生産会社〕

FCC(INDIANA), LLC	[米国]	FCC(North Carolina), LLC	[米国]
FCC(Adams), LLC	[米国]	FCC(THAILAND)CO., LTD.	[タイ]
FCC(PHILIPPINES)CORP.	[フィリピン]	成都永華富士離合器有限公司	[中国]
上海中瑞・富士離合器有限公司	[中国]	FCC CLUTCH INDIA PRIVATE LIMITED	[インド]
PT. FCC INDONESIA	[インドネシア]	台灣富士離合器股份有限公司	[台湾]
FCC DO BRASIL LTDA.	[ブラジル]	佛山富士離合器有限公司	[中国]
FCC(VIETNAM)CO., LTD.	[ベトナム]	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.	[メキシコ]

〔持株会社・統括会社〕

FCC(North America), INC.	[米国]	愛富士士(中国)投資有限公司	[中国]

事業所所在地

本社	〒431-1394	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技術研究所	〒431-1304	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
浜北工場	〒434-0046	静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
渡ケ島工場	〒431-3423	静岡県浜松市天竜区渡ケ島1500番地
鈴鹿工場	〒510-0261	三重県鈴鹿市御薗町5421番地
東京オフィス	〒351-0021	埼玉県朝霞市西弁財1丁目1番5号 金子ビル1階
大阪オフィス	〒563-0046	大阪府池田市姫室町1番1号 池田YMビル402
栃木オフィス	〒321-3226	栃木県宇都宮市ゆいの杜1丁目5番40号 とちぎ産業創造プラザ内102

「F.C.C.×TSR」
エフ・シー・シー公式
レース情報サイトのご案内

F.C.C. TSR Honda Franceのレース情報を
随時発信中です。
https://www.fcc-net.co.jp/fccrace/

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当基準日	3月31日 中間配当を実施する場合　9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います
ホームページアドレス	https://www.fcc-net.co.jp/
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行(※) フリーダイヤル　0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)　本店および全国各支店 みずほ銀行　本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

[配当金計算書について]

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

株主優待制度について

株主優待制度の内容

(1)対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

(2)贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬から下旬

※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。

株式会社 エフ・シー・シー

本　社　〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL(053)523-2400(代)　FAX(053)523-2405
https://www.fcc-net.co.jp/

VEGETABLE OIL INK

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。